臺灣日日新報
本日四頁

壯烈なる攻擊敢行　全員玉碎と認む

我がアッツ島守備部隊

大本營發表（五月三十日十七時）

【東京發至急報】

一、アッツ島守備部隊は五月十二日以來極めて困難なる狀況下に寡兵克く優勢なる敵に對し血戰繼續中の所五月二十九日夜敵主力部隊に對し最後の鐵槌を下し皇軍の眞髓を發揮せんと決意し全力を擧げて壯烈なる攻擊を敢行せり、爾後通信全く杜絕全員玉碎せるものと認む、傷病者にして攻擊に參加し得ざる者はこれに先だち悉く自決せり、我が守備部隊は二千數百名にして部隊長は陸軍大佐山崎保代なり、敵は特種優秀裝備の約二萬にして五月二十八日迄に與へたる損害六千を下らず

二、キスカ島は之を確保しあり

嗚神兵山崎部隊

皇軍の眞髓世界に顯示

【東京發】三十日十七時の我が大本營發表はアリューシャン列島アッツ島において去る十二日以來十八日間に亙り血戰に血戰を續けてゐた山崎保代大佐指揮下の守備部隊二千數百名の將兵が二十九日夜敵に最後の鐵槌を下すため壯烈な總攻擊を敢行、遂に全員玉碎せるものと認むる旨を告げた、アッツ島に上陸せる敵は[illegible]を有し重砲等の重火器を有する優秀裝備の一個師團約二萬で彼等は[illegible]の猛烈なる爆擊及び熾烈なる艦砲射擊の掩護に上陸以來數を恃んで我が守備部隊に攻擊を加へて來た、敵兵力の大體十分の一と云ふ寡兵の我が守備部隊は、烈々たる敢鬪精神の下に士氣愈々高く、[illegible]加へ來る敵の十字砲火の中に毅然として陣地を死守し[illegible]反擊を加へ二萬の敵兵の內六千に對し損害を與へた、アッツ島守備の山崎部隊は將に撃ちてし止まむの皇軍の傳統を世界に向つて顯示したものである、皇軍は最後の一兵が斃れるまで戰鬪を放棄するものではない、又一兵と雖も存する間は敵に自由行動を許さぬ、更に傷病兵は一兵も殘らず自決し忠魂となつて最後の總攻擊に參加し山崎部隊二千數百名は一つの火の玉となり裝備のみを恃む敵の中に突進討死したのである、北太平洋アッツ島の防人達はかくて全員天翔つて護國の鬼と化したのである、山崎部隊は玉碎した然しアッツ島の氷雪を血に染めた山崎部隊の示せる[illegible]崇高なる精神力は[illegible]して[illegible]であらう、敵は血だらけになつて漸くアッツ島に[illegible]行動の自由を許された[illegible]將兵は一體何の爲に戰つたのか彼等は[illegible]ルーズベルトの野心に躍らされアリューシャンの[illegible]押し出され[illegible]されたのである、御稜威の下大詔を畏み[illegible]皇軍と將に[illegible]二千數百の英靈に合掌し[illegible]して永遠に流れる日本人の美しく[illegible]血に感謝し大東亞戰爭完遂に邁進、誓つてアッツ島の我が英靈に應へなければならぬ

勇戰奮鬪の經過

【東京發】アッツ島におけるわが守備部隊の勇戰奮鬪の經過は常に[illegible]に先んじ大本營及び二回に亙る大本營陸軍報道部長の談話に依つて明かにされたがその經過を述れば

一、去る十四日十六時の大本營發表は去る十二日有力な米國部隊がアッツ島に上陸を開始激戰を展開中の旨を明かにした

一、其後の戰況に關し谷萩報道部長は十七日東海岸に上陸せんとした敵はこれを殲滅し西海岸及び北海岸の上陸部隊に對しては[illegible]これを[illegible]展開中であり敵は[illegible]飛行機の[illegible]第一線兵力を強化しつつありわが守備隊は寡兵克くその陣地を確保し[illegible]士氣極めて旺盛で[illegible]

戰局は幾多の波瀾

一喜一憂する勿れ

【東京發】[illegible]十八日間アッツ島における二千數百の皇忠將兵は世界無比の皇軍の面目を遺憾なく發揮しここに玉碎した、勿論アッツ島の陷落の如何に依つて大東亞の四周を固めたわが必勝不敗の戰略態勢はこれに依り[illegible]ものではない、各民族[illegible]生殘るか亡びるかを決する世界大戰爭の[illegible]において[illegible]の幾多の波瀾が生起することは當然でありわれ等は國民はこれに一喜一憂するものではない、アッツ島に玉碎したわが守備部隊の烈々たる敢鬪精神を承繼ぎわれ等は[illegible]以て敵米英の步武を更に強く更に大きく進めると共に一億一體[illegible]撃ちてし止まむの誓ひを新たにするのみである

「アッツ島の血戰に就て」

從容悠久の大義へ

御勅諭の御精神實踐

谷萩報道部長放送

【東京發】アッツ島攻略の敵米英の極めて優勢なる部隊を敵に[illegible]血戰二旬に亙つて[illegible]を續けたわがアッツ島守備部隊は山崎部隊長以下將兵悉く極めて困難なる狀況下において[illegible]日本將兵の[illegible]を[illegible]ところなく[illegible]遂に玉碎での壯烈なる最期は遂に鬼神をも哭かしむるものがある谷萩大本營陸軍報道部長は三十日十九時より同日のアッツ島戰況發表に際する大本營發表のラジオ報道についてわが同島守備部隊の壯烈果敢なる戰鬪狀況に際し「アッツ島の血戰について」と題し放送を行ひ山崎部隊長以下わが將兵が常に御勅諭の御精神をよく體すると共に「生きて虜囚の辱を受けず死して罪禍の汚名を殘す勿れ」とわが戰陣訓の教へをその儘に從容として悠久の大義に就いて護國の鬼と化し正に山崎部隊長が只の一兵も一兵の增援、一發の彈藥の補給を求めず[illegible]、二十九日夜闇を期し敵の主力部隊を求めて最後の突擊を敢行一兵と雖も[illegible]ものであることを[illegible]

アッツ島の血戰について

アッツ島守備のわが部隊は敵と血戰二旬遂に悉く玉碎しましたその壯烈なる最期は誠に鬼神をも哭かしむるものがあり皇軍の面目を發揮して餘すところがないのであります、それは大楠公の湊川における戰鬪を彷彿させるものでありまず、アッツ島に上陸した米軍は一個師團二萬でありまして戰車及び優秀なる火力をもつて裝備され山地及び空中の戰鬪には相當の訓練を受けてゐるものと思はれます、そして有力なる海軍及び空軍の掩護下にありました、これに對しわが方は山崎保代陸軍大佐の指揮する火砲部門を有する約二千名の勢力でありました、五月十二日[illegible]主力をもつて南岸、各一部をもつて東岸並びに北岸に上陸して來たのでありますがわが部隊はまづ東岸部隊を水際に殲滅しついで各方面の[illegible]部隊を撤し[illegible]東北角の[illegible]陣地に據り[illegible]戰鬪を繼續したのであります、敵は[illegible]空より猛烈なる砲爆擊を反復しこれに膚接して地上より猛攻を繼返してゐたのでありますがわれわれは好餌を捕捉しては[illegible]に出でその都度これに大打擊を與へて[illegible]しつつありました、五月二十七日頃には敵は漸く陣地[illegible]に[illegible]しここに[illegible]及び手榴彈等による白兵戰が[illegible]されるに至りました、かう言ふ[illegible]

悲壯 なる狀況下にありながら山崎部隊長は只の一度でも一兵の增援も要求したことがない又一發の彈藥の補給をも願はない、その烈々の[illegible]必死の[illegible]には[illegible]しも[illegible]してゐたのであります、然も「兵站[illegible]の間[illegible]なきを保し[illegible]も目前に迫り且つ通信が[illegible]の恐れあるをもつて[illegible]を通せず最敢へず[illegible]せる事項を報告す」と前置して敵の[illegible]、裝備、戰法及び本戰鬪における[illegible]の作戰[illegible]を逐次報告に[illegible]して來て居ります、その心[illegible]は佐久間[illegible]の[illegible]最中にお[illegible]いて死の直前まで日本海[illegible]の[illegible]を[illegible]び後に[illegible]ものの爲[illegible]を取つた心境にも比すべくその[illegible]心の[illegible]なる[illegible]の旺盛なる[illegible]なくしては[illegible]ものがありましたその[illegible]たる[illegible]に至つてはの如くして[illegible]であります、斯くてわが部隊は[illegible]天を衝くの[illegible]がありましたが死傷は[illegible]八日頃には[illegible]十名になりました、然も敵は[illegible]として新鋭部隊を[illegible]に[illegible]の戰鬪力は[illegible]加はつてまゐりました、ここにおいて山崎大佐は[illegible]の推移を達觀し最後の決心を取りました、それは[illegible]最後の攻擊部隊を下し[illegible]を[illegible]せん、と言ふのであります、即ち二十九日夜闇[illegible]主力部隊を求めて最後の攻擊を敢行せんとしたのでありますこれに[illegible]

一切 の[illegible]はこれに[illegible]られたのであります、[illegible]にして[illegible]參加し得ざるものは攻擊に先だち悉く[illegible]を[illegible]自決し[illegible]と共に敵中に突入を[illegible]したのであります、山崎大佐は[illegible]一[illegible]戰鬪[illegible]上司に報告し「[illegible]に[illegible]きにあらざる[illegible]一[illegible]の名を汚すべきにあらず[illegible]部下一同も[illegible]として共に死に[illegible]く」旨を述べてこの報告が[illegible]でありました、その後アッツ島の[illegible]信は[illegible]久に答へうることなかつたのであります、この[illegible]の[illegible]が如何に[illegible]ものであつたかは[illegible]にかたくないのであります、守備たる[illegible]

玉碎 し斯くてアッツ島は皇軍の[illegible]の[illegible]として[illegible]に[illegible]の上に[illegible]されることになりました、五月二十七日米國の[illegible]ス[illegible]フレー・ザーハントは、アッツ島[illegible]の[illegible]を指摘して、アメリカ[illegible]中[illegible]は「日本兵は[illegible]であり、[illegible]部で勇敢な戰士である」とことに[illegible]な狀況下においてこの時[illegible]押する」と述べたが、このことは[illegible]太平洋の[illegible]に[illegible]される、今や日本兵はアッツ島において恐るべき勇敢さをもつて[illegible]つてゐると思はれる、西南太平洋[illegible]から[illegible]した兵士の話による[illegible]と[illegible]日本兵は[illegible]の一人になるまで武器を取つて[illegible]したと言ふこれによつて見ればアメリカ兵がアッツ島の日本兵と闘[illegible]如何に[illegible]であるかが[illegible]うと述べて居りました「[illegible]からずんば死」を求むる[illegible]な[illegible]皇軍の[illegible]は[illegible]あります、[illegible]

勅諭 を[illegible]ぎてこれが[illegible]本の[illegible]に[illegible]の汚名を[illegible]し[illegible]を[illegible]したのであります、[illegible]を一にして己の[illegible]に[illegible]すると共に[illegible]において「[illegible]べし」と教へ[illegible]べし[illegible]と[illegible]は死す[illegible]つて「生きて虜囚の辱を受けず死して罪禍の汚名を殘すこと勿れ」と示し[illegible]について「[illegible]」と[illegible]一切の力を[illegible]、[illegible]の大義に生くることを悦びとすべし」と示し、又[illegible]と[illegible]められてゐる、その悉くがこの部隊の上に[illegible]されてゐるのであります、嗚呼何たる[illegible]でありませう、守備部隊將兵はその最後の[illegible]前に宮城を遙拜大元帥陛下の萬歲を奉唱し[illegible]本の天壤無窮と大東亞戰爭の必勝とをして後に[illegible]ものとを[illegible]であります、私は[illegible]台下に[illegible]撃ちてし止まむの誓ひを新たにするものであります

仇敵必殺に固き決意

物心兩面に不敗の基礎

【東京發】國家の興亡をこの一戰に賭けて決戰に次ぐに決戰をもつて日夜敵[illegible]しつつある[illegible]は山本元帥の壯烈なる戰死により[illegible]復仇の[illegible]火を以てせんことを[illegible]ひつつある、[illegible]新[illegible]長官古賀峯一大將は[illegible]陛下に[illegible]し「山本元帥始め幾多[illegible]と共に仇敵必殺を以て[illegible]を完うせん」と固き決意を表明した、今や全[illegible]は新[illegible]長官の統率の下に士氣益々旺盛、[illegible]を以て決戰[illegible]に向へ[illegible]らんことを期してゐる、[illegible]して[illegible]は本年[illegible]以來全戰線に亙り反撃を企圖し南太平洋方面において[illegible]を建設し漸次これを我が前線[illegible]に推し進めんとすると共に[illegible]大なる生產能力を[illegible]して航空兵力の[illegible]を主力に[illegible]の[illegible]を[illegible]してゐる、[illegible]

山崎大佐戰歷

【東京發】去る十二日以來アッツ島に來襲せる[illegible]に對し[illegible]を續け遂に玉碎せるものと認められる現地守備部隊の部隊長は山崎保代陸軍大佐である旨三十日[illegible]されてゐることを[illegible]した

救恤基金の使途

【マニラ三十日發同盟】[illegible]は比島訪問に際り一[illegible]救恤基金を比島民に贈つたが、バルガス長官は各部局[illegible]の[illegible]に基づき右の內大部分を地方における[illegible]及び[illegible]に、一部を同[illegible]のマニラ市に[illegible]に決定二十九日發表した

敵の五萬を擊滅

片岩中心に包圍鐵環

【江南前線二十九日發同盟】[illegible]なる反[illegible]作戰の[illegible]の各方面より[illegible]中のわが[illegible]部隊は〇〇方面より[illegible]したわが[illegible]部隊と緊密に協力しつつ二十五日未明巴山山系の要衝[illegible]西南方二十二粁片岩を中心とする包圍[illegible]を形成、[illegible]方面より[illegible]部隊に[illegible]の各地を[illegible]八十六[illegible]十五、十三、六十七の三個師並びに二百五十五師[illegible]三十四師計五個師五萬に對し一齊に[illegible]を[illegible]し[illegible]を[illegible]完膚なきまでに[illegible]、[illegible]する[illegible]を[illegible]してゐる、一方これに呼應しわが[illegible]部隊は[illegible]〇〇米、[illegible]〇〇米の[illegible]して[illegible]する巴山山系の[illegible]を[illegible]部隊の山地に[illegible]し[illegible]に[illegible]する[illegible]に對し〇〇米の[illegible]より猛烈なる[illegible]を[illegible]した

イランに暴動勃發

反英の兩種族

【イスタンブール二十九日發同盟】テヘラン來電によれば[illegible]イランのカシカイ族並にルレス族の[illegible]はペルシャ灣岸のブシールからシラズ經由でテヘランに[illegible]二十八日[illegible]都[illegible]の[illegible]が行はれイラン軍との間に衝突が行はれてゐると云はれる、[illegible]は米英[illegible]の間に[illegible]が[illegible]れる[illegible]カシカイ族の[illegible]ル・カーンが[illegible]二十萬を[illegible]したもので[illegible]族の[illegible]を示して居り、イラン政府の[illegible]も同地方に於ては[illegible]行はれてゐなかつたもので、それが[illegible]の[illegible]に[illegible]したものと見られる、[illegible]はイラン[illegible]に[illegible]するイラン[illegible]して北方への[illegible]したが[illegible]に米英の[illegible]を出[illegible]しめるに至つたものでイラン[illegible]は米英[illegible]下に[illegible]してゐる

赤軍の損害甚大

クバン橋頭堡獨軍奮戰

【ベルリン二十九日發同盟】D・N・B通信[illegible]ニルンスト・フォン・ハンマー大佐は二十九日東部戰線[illegible]におけるクバン橋頭堡における戰況につき次の通り報道してゐる

二十八日クバン橋頭堡における[illegible]な防禦[illegible]を[illegible]赤軍は[illegible]して[illegible]を[illegible]、[illegible]が[illegible]した、二十八日午後[illegible]は[illegible]に[illegible]し[illegible]を打込んだが[illegible]る[illegible]の反擊に遭つて[illegible]され[illegible]において敵戰車十二臺を[illegible]他の十六臺を炎上せしめた、赤軍の[illegible]にモルダヴァンスコエの二點に向けられ[illegible]にあるが既に三十六[illegible]を擊破して[illegible]を[illegible]の[illegible]として[illegible]

緊張感漲る

東部戰線全線に亙り

【ストックホルム二十九日發同盟】ノヴオロシースクからレニングラード近郊まで[illegible]、更にフィンランド戰線一千粁を合せ北氷洋から黑海に至る二千八百粁の長大な東部戰線ではこの數日來クバン地區、ドネツ中流、レニングラード地區ヴエルキ[illegible]等を中心として漸次獨ソ兩軍の動きが活潑化して居り全線に亙り異常な緊張感が[illegible]つてゐる[illegible]

報復爆擊を覺悟

獨、英軍の盲爆に

【ベルリン二十九日發同盟】英空軍の[illegible]に對する[illegible]を[illegible]英國各紙は右の非難に[illegible]

山一、小池證券

合併成立す

英のボーヌ、スーサ兩港爆擊

翼政會評議員指名

教學刷新の主なる意見

六千機を擊墜

伊參戰以來

【ローマ二十九日發同盟】伊[illegible]の[illegible]によれば一九四〇年六月十日イタリアが參戰して以來二十七日までに[illegible]は[illegible]及び北阿において[illegible]六千二十三機を[illegible]したと云はれる

ドゴール、ジローと會談か

人事

すべてを戰爭へ
すべてを勝利へ
すべてを祖國へ
すべてを貯蓄へ

第一徵兵
コドモ保險
公認四十五年

北への慰問袋に南の香を
保健飲料
日東紅茶

發賣元　三井物產株式會社　製造元　三井農林株式會社

叢書　經濟計畫綜合
勞務配置論　厚生省　佐伯敏男著
交通政策論　企畫院　柴田彌一郎著
大東亞建設論　企畫院　村山道雄著（近刊）
食糧政策論　農林省　遠藤三郎著（近刊）
東京・神田・小川町二ノ十　振替東京八三八九三
高山書院

來出版重の書刊新評好
石井秀平譯　その前夜
田中豊松譯　虐げられし印度
前田蓮山著　原敬傳
服部直人著　愛情の古典
窪川稻子著　續女性の言葉
寒川光太郎著　未婚手帖

古賀斌著　武士道論攷
中村孝也著　楠公傳
岩崎良三譯　キケロー選集　老年に就いて
齋藤弔花著　國木田獨歩とその周圍
萩原朔太郎全集　新しき欲情　附・散文詩
第二回配本　近代日本文學研究　昭和文學作家論（下巻）　六月中旬發定
東京神田一ツ橋　小學館　振替東京四五一〇七

近刊　井關孝雄著　大東亞圈庶民金融論
近刊　鈴木舜一編著　今日の勤勞問題
重版　金子鷹之助著　南方資源と日本經濟
東京講演會出版部

近藤春雄著　ナチスの青年運動　―ヒットラー青少年團と勞働奉仕團―
近藤春雄著　ナチスの厚生文化　―歡喜力行團の研究―
大倉邦彥著　勤勞教育の理論と方法
吉田金一譯　科學と洞察
伊藤祐一著　溫泉の科學
三省堂刊

軍政の強力滲透下 行政機構の確立へ
民主主義思想の一掃

【マニラ支局發】中央行政機構の整備充足に相併行して地方行政機構も可及的速かに整備確立が着手された、既に首都マニラ市では皇軍入城直後、ヴアルガス氏が時市長の手許に於て直ちにその機構整備が實施され、中央行政機構と同時に大マニラ市長にシオレ・ギント氏が任命され

越え て二月二十二日にはルソン島バタンガス、ブラカン、キヤビテ、ラグナ、スエバシーハ、パンパンガ、パンガシナン、リサール、タルラツク、タヤバスの十州並にミンダナオ島ダバオ州の十一州知事及びキヤビテ市長が新しく任命を受け、ついで更に三月初めには州[illegible]官の任命等[illegible]て手際よく着々とその人的構成が實現さるるに至り、占領地區內の治安、並に一般行政は皇軍入城いくばくもなくしてその緒に就いたのである。而してこの地方行政機構確立に當つては、從來の如き民主主義思想の弊を完全に拂除して[illegible]た政治形態の實を[illegible]づけられてゐる「中央」「地方」の行政共もの に表裏相一體した一貫性を賦し且つ市政の治安、民心の安定を圖ることにその主眼點が置かれてゐたことは大いに注目されていい事實であつた

爲に 州法、市法、町法等の根本的な改定が行はれ且つ又知事、市町長が任命制となりこれに強い權能を與へて文字通り各階層に於ける地方行政の中樞たらしめたのである。斯くしてその根本的使命たる（一）治安確立（二）道路網の整備（三）教育の革新（四）地方財政の確立（五）新經濟機構の確立（六）交通の復興整備等にその地方行政機構を通しての新比島建設が極めて活潑に推進されていつた、ヒリツピン全島は中央政府に[illegible]を見たセブ、イロイロ、パラワン、ミンダナオ等多數[illegible]島地方に於ては皇軍の[illegible]に依つて[illegible]以上に破壞され、その治安[illegible]も當初可なり危ぶまれたと言ふが、僅か一年後の現在に於て各地共に殆ど舊に復してゐることを考へるとき

之は 皇軍の熱心なる指導工作の賜によるはもとよりながら又、これ等地方行政機構のいちはやい整備擴充といふことも與つて力あつたものと言ふべきである、因みに州法改定の主要點は左の如くである

（一）州知事

1 任命＝從前知事は選擧に依り選出されてゐたのを、選擧制を廢して比島方面陸軍最高指揮官の認可を經て行政長官之を任命することとした

2 知事の權限＝從前州政の中樞が州參事會に在つたのを、知事をして州政全般の中樞たらしめた、中央事務に關して知事に何等の權能も持たされなかつたのを、地方[illegible]の長たる性格と、中央行政機關の下級機關たるの二面の性質を與へ、中央行政府の下級機關として教育、衞生、産業、土木等の事務に就ても監督の責に任ぜしめた

（二）州參事會

1 構成＝從前選擧により選出せられた二名の議員と知事一名、計三名を以て構成されてゐたが之を民間好適任者中より行政長官選拔任命した者二名及州主要官吏を以て構成することにした

2 權限＝從前州政の全面的權限を有つてゐたのを、單に知事の一諮問機關とした

（三）州豫算

從前は州參事會に於て決定し財務長官ての認可權を有してゐたのを、州知事決定し內務長官に認可權を有たしめることにした

以上が大體の州法改定の主要點であるが、市、町法の改正主要點も亦右に準ずるものがある

比島 に於ける司法組織も大審院、控訴院、第一審裁判所、治安裁判所、及びマニラ市裁判所等悉く發足してゐる、警察組織は戰前迄警察隊が組織されてゐたが、之は戰爭直前に米比軍に編入されてゐたので、今次大東亞戰爭勃發に依つて全く解消し治安維持上多大の困難を招來してゐたが、皇軍の努力に依り日ならずして警察組織も再建され、現在各地の日本的訓練により日本警察精神を發揮しつつ極めて成果を擧げてゐる、首都マニラに於て新しい試みとして婦人警官の採用が行はれ、スカートにヘルメット姿の比島婦人警官が大いに活躍してゐるのも注目さるべきである

凄い日本語熱
比島人教員も教壇へ

【マニラ支局發】大東亞共榮圈內に於ける最も重要なる一環として今や帝國指導の下に更生復興した新生比島は政治、經濟、文化の各面に亙つて建設の意氣すさましきものあるが、日本語に對する比島民衆の熱意も亦極めて盛んなるものあり、僅七、八歳の童兒たちが片言まじりに“アリガトウ”“サヨナラ”など日本語を語る風景はほほえましい情景を呈してゐる

現在 比島の日本語教員養成施設としては僅にマニラ市內の「教員講習所」があるのみだが、最近ヒリツピンに於ては凡ての各種學校で日本語が必須科目となつており、從つて日本語教師の需要も增大し、[illegible]る日本語教師の需要[illegible]は之を補充し[illegible]る狀態に在る、依つて[illegible]「教員講習所」のみの修了者では[illegible]が多數とし日本內地より日本語教師を派遣し[illegible]、比島在留邦人中よりも適任者を求めるなど[illegible]を講じつつあつたが未だ十分ならざるので、今回新に「日本語教員資格檢定試驗制度」を創設することになつた

この 教員檢定制度は比島人中[illegible]の機會に於て日本語を修得したる者、或は今後各種の日本語教習施設に依つて修得したる者等に對して正規の教員資格を付與すると共に教員不足の補充、比島人の日本語修得熱に酬いんとするものであり、本制度の施行公布に依つて從來區々に行はれてゐた各種の日本語教育に一つの一定の基準を與へることが出來、且つ比島人の日本語熱に大いに期待されてゐる、この教員檢定制度に依つて今後、比島に於ける日本語教育に從事する比人は正式に日本語教員資格を付與さるべき日本語教員養成所その他の教育施設に於て日本語教育[illegible]を必ず所持せねばならない

教員 資格は「初級」、「中級」、「上級」の三部に分たれて居り、之等はすべて左の者に於てのみ受驗資格より[illegible]される

一、日本語教員養成を目的とする公立の學校又は施設に於てその課程を修了したる者「公立の學校」とは近く創設さるべき日本語專門學校を意味す

二、日本語教員資格檢定委員會の行ふ日本語教員資格檢定に合格したる者

檢定は「試驗檢定」及び「無試驗檢定」の二部になつて居り、受驗者の學力、性行、身體に就て行はれ、試驗檢定に於ては

一、聽方、解釋、文法、作文、會話

二、日本歷史、日本文化

三、文法教授法

等の學力檢定が行はれ、その受驗資格として左の點が要求されてゐる

一、比島人にしてハイスクールを卒業したる者、又はハイスクールと同程度以上の學校を卒業したる者

二、軍政監に於てハイスクール卒業者と同等又は同等以上の學力ありと認定したる者

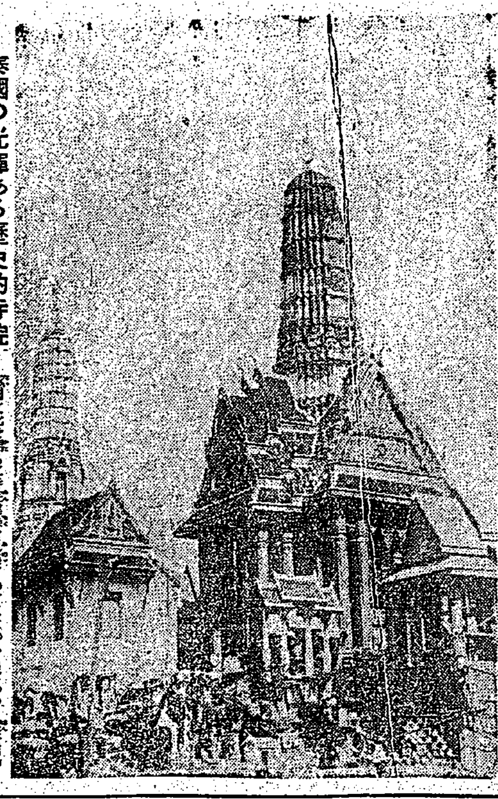
無試驗檢定には左に該當する者のみが之を受けることを得る、即ち

一、軍政監に於て無試驗檢定ありと認めた公立又は私立の學校若くは施設を修了したる者

二、日本に於て一年以上公立又は私立の學校又は教育施設に於て修學したる者

三、日本語に關し特別の學識又は著作を有する者

來る 六月十一、十二日兩日に亙りマニラ市サン・アンドレスに於てその第一回初級日本語教員資格檢定試驗が實施されるが、何れにせよ從前日本人教員のみに依つて教へられてゐた日本語が之の制度に依つて比島人教員自らの手に依つて將來日本語が普及發達されて行くといふことは比島文化史に意義深い一頁を飾するものと言ひ得よう



泰國の光輝ある歷史的寺院
ワット・プラケオ

泰國文化を語るに寺院建築を見逃すわけにはゆかぬであらう盤谷市中だけでもワット・サケ、ワット・ポー等々幾多の大寺院がある、殊に有名なのはワット・プラケオであらう、泰國の歷史に光輝を加へた日泰同盟の[illegible]式もこの寺院で行はれたのであつた、[illegible]わが坪上大使とピブン首相との間に[illegible]交されたのである、彼の有名なエメラルドの佛像も中央祭壇に安置されてゐる、南國特有の強い光を受けてキラめく黃金色の塔は殊に映えて美しい【寫眞はワット・プラケオ】

相思樹の葉から
石鹼を造る
小倉氏植物資源を語る

小倉氏植物資源を語る さきに來臺した千葉縣市川市の財團法人小倉理化學研究所長小倉千藏氏は共榮圈南部を視察し各地の學術研究所、工藝研究所其他の人々とも意見を交換し此の程臺北した[illegible]が產業は斯る資源に恵まれて居り工藝資源として利用すべき植物が[illegible]る[illegible]豊富で羨ましく自分としては[illegible]しき意見をした[illegible]と前置して次の如く所見を語つた

臺灣にはバナナや鳳梨が到る處に栽培され其纖維が可なり利用されてゐるが、鳳梨の葉から纖維をとつた滓も相當利用の途がある、バナナの皮は東京で代用コーヒーに利用する研究が成功したが、運搬關係で採算不引合といふことになり他に利用の途が研究されたが今のところ之から石鹼が出來る目途はついてゐる、臺灣には纖維の多いことが一大特色である、然し之を利用するには工業原料は內地では纖維に配給しないことになつて居り從つてそれの利用が問題である纖維の精錬には普通以外に二つの方法があり一は[illegible]物法であり他の一は細菌精錬である、鳳梨纖維は細菌で醱酵させることが出來、有望である、私が興味を深じたのは相思樹の葉と梗莖及び實は草で、中にも莢皮には化合水炭素を含んで居り之から石鹼は出來るがタンニンを含む相思樹の葉から石鹼をつくることが一石二鳥的であると思ふ、[illegible]て喰へないものだと工藝原料として利用の途多く、殊に[illegible]の如きも產が多いだけに興味があると思ふ、甘蔗の葉は[illegible]では肥料として、畑に[illegible]されてゐるやうだが、內地は纖維の相違の[illegible]めか之が堆肥のやうに黑くならないので肥料には用ひられてゐない

尙小倉氏に[illegible]相思樹の葉から石鹼をつくつて實際の[illegible]に使つてもらふ爲めに一日午後一時より四時迄臺北市公會堂で川合[illegible]株式會社主催の下に小倉特殊石鹼の試供會を開くことになつた、是非御試用の上御批評を願ひたいと小倉氏は語つてゐる

血と汗に綴られた
魔のアラカン進擊

【南部[illegible]國境前線二十四日發同盟】夜もすがら雨は烈しく降りこめた、街の明を既に假睡の夢を結ばんとする將兵の朶にも雨はやがて[illegible]と[illegible]が烈しい吹雪となつて[illegible]い暴風と共に大地に[illegible]れた[illegible]たる山嶽地帶に吹き荒んだかうした[illegible]を[illegible]で昨年十二月二十七日〇〇基地を進發した〇〇部隊は南部[illegible]國境アキャブ[illegible]に參加すべく[illegible]のアラカン山脈踏破を敢行し三月九日カラダン河[illegible]アポークワ附近で〇〇部隊と聯繫[illegible]するに至つた、この間七十二日、かのナポレオンのアルプス越にも匹敵すべき[illegible]に絕する強行軍であつたが、遂に敵の背後を突く大膽不敵な作戰に成功、ワータ大佐指揮下の英印カラダン支隊を殲滅してこれを壞滅に潰走せしめた今次アキャブ作戰[illegible]の火蓋を切つたのであつた「[illegible]日本軍大部隊アラカンを越えマユ半島に殺到す」との[illegible]に敵[illegible]を震へ上らせた謎の[illegible]部隊は今その[illegible]を脫ぎ捨てて初めて〇〇部隊として[illegible]を擧げたのである、記者は南部[illegible]國境部隊に於てこの〇〇部隊勇士に會ひアラカン越の死線の全貌を聞くを得た、以下は血と汗に綴られた〇〇部隊のアラカン進擊記である

重疊たる峻險突破 〇〇部隊の行軍やがて先發部隊は八九四一呎の峰を登りつめた、重い[illegible]外套に冬[illegible]、それに十日分の[illegible]をぎつしり詰つた[illegible]を[illegible]に背負つた兵の姿は富士山を登る[illegible]そつくりである、やつと駄馬一匹が通れる位の狹い道が[illegible]した竹藪の中に消えるが如く[illegible]く中を道路隊の工兵隊を先頭に、步兵、輜重兵、牛馬部隊が連日[illegible]と[illegible]

[illegible]

血みどろの格鬪 〇〇より〇〇道の[illegible]〇〇キロの大密林地帶を突擊するのに部隊は一月二十日より二月二十日に至る一ケ月間を費した、物凄く切立つた山が[illegible]え全山悉く竹の密林に蔽はれてゐる、曾て〇〇に英軍が[illegible]してゐる唯一年に一度[illegible]を出したがどうしても道路を作り得なかつたと言はれてゐるだけに果して[illegible]

全部隊將兵は[illegible]日中天氣の良い時は氣溫が內地の盛夏の樣に高く汗と泥に塗れる兵隊も夜は[illegible]な低下氣溫に[illegible]をしなくてはとても眠れない[illegible]であつた、[illegible]とてない山中では竹を切つて柱としその上に竹の[illegible]をのせて急造の小屋を作つたが、[illegible]から降り頻る[illegible]は[illegible]をつんざき一晩中火を燃やし通しても[illegible]てどうしても眠られぬ夜が[illegible]

カラダンの敵を急襲 二月十日アラカンを突破した部隊はペンクワェソー[illegible]にカラダン河を下つた

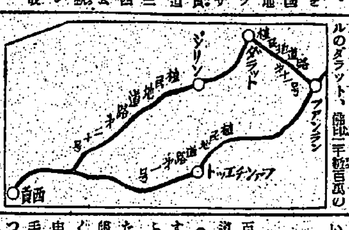
皇軍に協力するチン族 一本の[illegible]、頭の毛を[illegible]

[illegible]に[illegible]して[illegible]したチン族の男女が[illegible]

[illegible]

［サイゴンよりダラット紀行］
原始と文明隣合せ【上】
見事な道路行く野象

【サイゴン支局發】一般民衆に[illegible]を持つ佛印の道路總じて二十三本、之が佛印交通の根幹を為す、各々には植民地道路第何號と號數が附されてゐる、例へば支那國境ランソンに發して河內、順化、ニャットラン等海岸地帶を走り、西貢、プノンペンを經て泰國境の近くアルサットに至る植民地道路第一號、或ひは西貢よりクラチエを經メコン沿ひにパクセ・サバナケット・ヴイエンチエンを經きルアンプラバンに到る植民地道路第十三號、而して此の國道廿三本悉く完成したわけではない、西貢よりバン・ムテュオー、コンツムを經てツーラーヌに出る第十四號道路、キノンよりステュントレンに到る第十九號道路の如く未完成のもの或は一部未完成のもの、又計畫中のもの等があるが、此の[illegible]原住民とは餘り關係もない此の地の植民地道路第二十號、ダラットよりフアンランに出る同じく第十一號、更に同じく第一號道路の一部合計七四八キロ、ランビアン高原の一部に立つ海拔千五百メートルのダラット、佛印一千數百瓩の[illegible]い程である、佛印政府が道路維持費に計上する金額は鋪裝道路一粁當り四百比弗、砂利道路同じく六十比弗、[illegible]に三里[illegible]か、握り遅れども、見渡せども人家一つないジャングルの只中で、長い柄の[illegible]圖である



道路のみ が只管見事なら[illegible]を一途に心掛けて居る感じである、原始と文明とが隣合せる此の道路の奇觀の一つは[illegible]する自動車の前に思ひ掛けなく野獸が現はれる事である、記者はファンランよりファンチエットに近く夕暮時、最も海岸に近く最も交通頻繁な此の第一號道路上行三千粁米の途に鹿が無心に通り過ぎるのを見たし、又色彩鮮かな野鳥が耳にひかれんばかりの近距離を橫切るのを見た、或ひは猿が道傍の樹上に鈴なりに居たし、猿が灌木の根本に蹲まつて居た、話では時折象にも出合ふと云ふ、日本では味はへぬ

「此の先[illegible]道路[illegible]」「此の[illegible]あり」等の注意書が[illegible]、[illegible]監視する[illegible]

筋骨隆々 として目に輝きを宿ひ、其の[illegible]に[illegible]いて[illegible]に[illegible]は既に[illegible]世界のものである[illegible]多い安南人を見[illegible]た目には一入であらう、[illegible]は大[illegible]に[illegible]として[illegible]と降り注ぐ高原に出る、[illegible]のプランテーションや[illegible]に取卷かれたジリンの街、[illegible]安南人の間にも知られずモイ族の住むに過ぎなかつた[illegible]此の地に[illegible]初に足を踏み入れた歐洲人はフアンランの布教師ヴイヨー某、一八六五年の事であるが、此の地を本格的に紹介したのはペスト菌の發見者でありニアトランパストゥール研究所の創設者にして本年三月一日逝去したエルサン博士で一八九〇年の同博士第一回安南山脈探檢の時である、同博士は又此の地のモイ族の研究者としても知られる、ジリンの街より約一粁餘かな綠の岡に沿つて遠くから見ればナ[illegible]のバラツク建、之が有名なジリンのモイ部落である、[illegible]の太陽を浴びて人の子一人見えぬが、部落に一歩足を踏み入れると[illegible]とモイの男女が現はれる死の[illegible]の中に人のわく感じであ る、子供が多い、そして[illegible]

ジリンのモイ族

ブラオの 峠を越えて千九百三十二年七月完成された植民地道路第二十號の道路沿がジリン、（西貢より三二七粁）の近きを示すに連れ三々伍々赤裸の群に出會ふモイである、男は伸びるに任せた頭髮、赤色の皮膚を蔽ふものは僅一つ、其の褌は日本風に腰を卷ぐ褌と五、六寸のよれくの布を申譯ばかりに前面に垂らしたのみ手には弓、其の弓は裂面をよく削つた五分角程の堅い真直な木に之と直角に[illegible]弓を釘付けにしたもので作り先端近く數ケ所の[illegible]を入れ一旦[illegible]に流れ[illegible]ぬ樣になつて居る、相手が大物なら[illegible]に猛毒を塗る、宛も銃の場合の如く狙ひをさめて呼吸が合へば[illegible]の[illegible]に仕掛けられたからくりを指で彈くと矢は[illegible]の如く[illegible]的を射ると云ふわけだ、男は弓の外に背に[illegible]を負つて居るものもある

無雜作に [illegible]を合せた[illegible]りの其の前に[illegible]て異なる、其の中央に[illegible]い入口、方形、[illegible]、[illegible]は[illegible]に從つて[illegible]ち、[illegible]建てられ、[illegible]が一米から一米半位の[illegible]の上に建築されて、高床家に似た[illegible]と[illegible]は[illegible]文化の近くにあるかなとも感じ、家の[illegible]の[illegible]には[illegible]もなく[illegible]して居る[illegible]、[illegible]して[illegible]の[illegible]ついた[illegible]を行つて[illegible]の首を刈つて居る者[illegible]の人の姿によくみかける[illegible]、そして其の[illegible]には一[illegible]が[illegible]

[illegible]

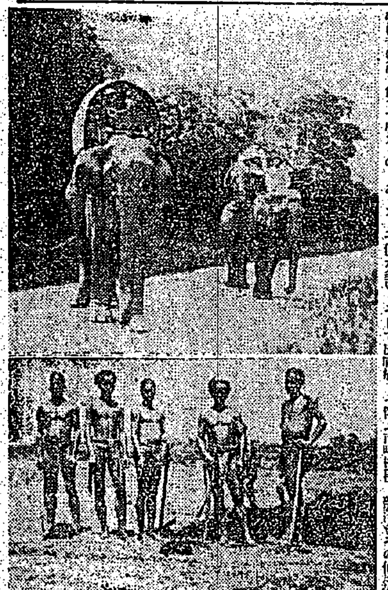
誕生 子供が生れても何等のお祝ひもない[illegible]一週間で母は[illegible]働きに出る、[illegible]子供はその[illegible]に負はれた[illegible]の中に入れられる[illegible]モイは自分の年[illegible]を知らないし、又[illegible]を見る[illegible]もない

結婚 婚約より結婚に移るが結婚の約束は[illegible]されて[illegible]は不[illegible]の場合、或ひは兩者不[illegible]の場合に[illegible]されるが之には[illegible]のあつた方の[illegible]より水牛六頭と云ふ[illegible]な賠償を必要とするので滅多に行はれない、モイは[illegible]制度で從つて常に若い娘の方から若い男に結婚を申し込み、式が濟むと男は自分の家を去つて女の家に住む事になる

結婚の式は盛大を極める、先づ巫女が、それが居なければ一家の主婦が新夫婦の幸福を精靈に祈る、此の祈りの[illegible]めに精靈に供せられた動物―若い水牛、豚、鷄、等―の血を米で作つた酒に混ぜ、それから精靈に祈りを捧げた後、新夫婦の[illegible]を此の混合物の中に入れる、之で結婚が成り、大酒盛が始まつて酒のある限り續く、結婚の四[illegible]夫の[illegible]はその家より[illegible]子の代りとして水牛一頭、[illegible]、酒[illegible]を受け取る[illegible]の所有權は妻にあるので夫は之に一指も染める事は出來ない、妻が死ぬと夫は里に歸つて遺產は一文も貰へない、二人の間に生れた子供は[illegible]方の祖父母の下に留つて[illegible]が遺產を相續する、若しも女の子がなければ遺產は亡き妻の姉妹或ひは姪に與へられる

セーニュ氏の「ジリンのモイ族」と題する興味深い[illegible]の中から二三を引いてみよう

（寫眞上は象上の象、下はジリンのモイ族）



地方制度の改革
運營指導の要點

【東京發】地方制度の根本的改革たる改正市制町村制は愈々六月一日より實施されるがこれら實施に伴ふ市町村長、部落會その他[illegible]の[illegible]運營に關し[illegible]、[illegible]省では[illegible]を[illegible]し地方[illegible]より各府縣に對し運營に關する訓令通牒を發すると共に九州、中國、四國近畿、東海、關東、北陸、東北、北海道の各ブロツク每に改正府縣制、市町村制についての打合會を開催、[illegible]と懇談しこれが運營指導に萬全を期することとなつた、而して[illegible]について特に留意すべきは大體次の[illegible]である、即ち

一、[illegible]人名簿は來る九月十五日新たに調製されるものから新規定を適用する

一、今後行はれる府縣會議員選擧については現在の[illegible]名簿によつて行ふ

一、再選擧、補缺選擧にして六月一日前に告示したるものはその[illegible]を執行して差支なし

一、町村會議員選擧における候補者制度は各町村に於て行はれる次の總選擧より施行される、町村長は候補者制度に[illegible]を[illegible]せず選擧期日前二日迄に自選又は他選により町村長に屆出をすればよし

一、選擧人、選擧運動の方法は從來と異る所はない、要するに町村會議員の候補者制度は候補者數が[illegible]定員數を超過しない場合無投票を以て當選者を決定する途を開いたものである

一、市會の[illegible]開會は來る六月五日を以て改正され今後市會は[illegible]常會と臨時會とに[illegible]にいて[illegible]件は制限、列擧主義がとられその運用は現在の府縣會の如きものとなる

一、市參事會は五月三十一日限り當然解散し[illegible]の中に組入れられる

一、現在の市町村長その他吏員は改正法の施行によりその職に影響することはないが市制町村制による參與のみは五月三十一日を以て解職する

一、新たに設けられた參與制度は町村においては必要な向においては全部市について設けこれを置くこととなるがこれによつて協力體制を一段と强化することとなる

一、考査役、新たに市に設けられる考査役は七月一日より設置されることになるがこれは極めて少數の大都市に限られその他の都市には吏員中から命ずることとなる

一、町內會部落會は制度の改正により急激な影響を受けることはなく町內會長、部落會長等に[illegible]で現在の[illegible]を促進せしむるため[illegible]の[illegible]只町內會、部落會の健全なる發展その他について相當指導監督が加へられることとなる

一、異議の申立て並に訴願、異議の決定權は町村會より町村長に移され訴願の採決權は府縣參事會より府縣知事に移されるが現に提起されてゐる異議訴願については舊法の規定により市町村會、府縣參事會において處理することとなる

大好評出來！
見玉學士夫熱血錄
獄中獄外　B6判三〇〇頁 價一・八〇〒一五
佐藤清勝著　支那哲學批判　B6判三五〇頁 價一・五〇〒一〇
岩佐圭奘著　嵐の世界　B6判三〇〇頁 價一・六〇〒一五
アジア青年社　東京・京橋・銀座二ノ三 振替東京一七一四九

勝ち拔くために―一億健康
ミツワ 肝油ドロップス
東京 丸見屋

健母を創る
本劑は體芯に効いて副作用の無いのが特徴！
CHUJOTO
中將湯
一、經血不順
一、こしけ
一、ヒステリー
一、血の道
定價 ・五五 一・〇〇 二・〇〇 三・〇〇
東京 津村順天堂

虚弱な人
肥れぬ人
衰へた軀に力がつき 血色よく 肉が付く
ネオネオギー
ネオネオギーといふ藥物は、胃腸藥として用ゐても秀れた作用をあらはしますが、しかし、この藥物は單に胃腸を丈夫にするだけが効果の全部でなく、優良消化藥をふくむほか植物ホルモンその他の榮養素を含有してゐることであります。

そのため、これを服用すれば、豐富な榮養素が、强化された胃腸を經て體內に吸入れられるのですから。

つづけてのんでゐるうちに、血が增す、肉がついてくる。顔色が[illegible]やさしくなる。そして次第に[illegible]は丈夫になる。病氣の[illegible]は[illegible]がよくなる、といふことになります。

藥價 一瓶、徳用[illegible]一圓六十錢、九圓六十四錢。藥店にあり。品切の時は東京小石川[illegible]日本生物[illegible]所へ[illegible]（振替東京五六八一二番）へ[illegible]

臺灣總督府 官報
月極購讀 一ケ月四拾五錢（郵送料共）
外ニ月別保存用官報一冊 金九十錢
發賣所 臺灣日日新報社
島內各地臺日取次店

体錬榮養
榮養不良では頑健になれない！
わかもと
錠劑わかもとは胃腸組織細胞に活力を與へ消化力を强化し、食物の榮養化率を昂めますから、本劑を用ひられますと榮養不良が恢復し体錬の效果愈々擧り、体錬中に特に消耗甚しきビタミンBを豐富に補給し、疲勞素（乳酸）の新陳代謝を圓滑ならしめます。從つて体力が人並以下の方でも失敗の憂ひ少く体錬を續け得ます

◎ぜひ空瓶を［illegible］
[illegible] 日 二五 圓六十錢
東京 わかもと本舗

滿洲國皇帝陛下
盡忠の英靈に御拜

滿洲國皇帝陛下
盡忠の英靈に御拜
全滿忠靈塔大祭執行さる

【新京三十日發同盟】全滿忠靈塔祭 新京、哈爾濱、奉天、承德、安東、ハイラルの十忠靈塔……

單機、克く四機擊墜
陸鷲の前に脆い空の怪物

……コンソリデーテッドB二四……

本隊

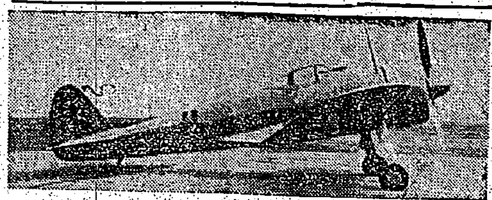
單機

聖將の聲を再生放送
山本元帥國葬の夜　在りし日の面影を偲ぶ

國葬齋場の整備進む

公務は私事に勝る
五警防團員を近く表彰

靈前に必勝祈願
東鄉元帥頌德祭行はる



肉彈搏つ熱戰展開
大學高專に臺中高農制覇

弔問客詰かく

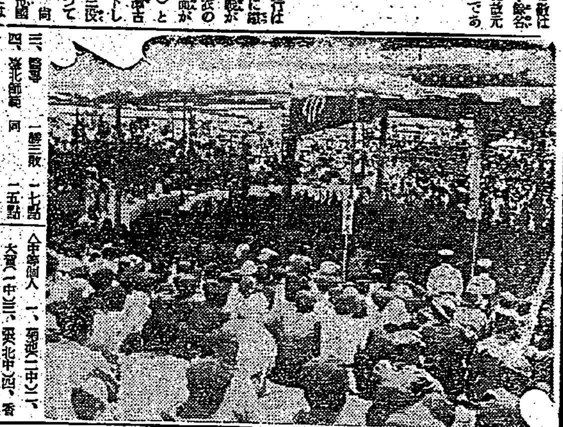
從軍畫家抱負を語る
日本魂を畫面に表現
使命の重大さに決意も固し

陸軍へ・銀翼獻納
颯爽　愛國臺灣產業組合號

皇軍への協力面を如實に表現したい
義勇隊員の敢鬪を畫く　[illegible]田吾郎畫伯語る

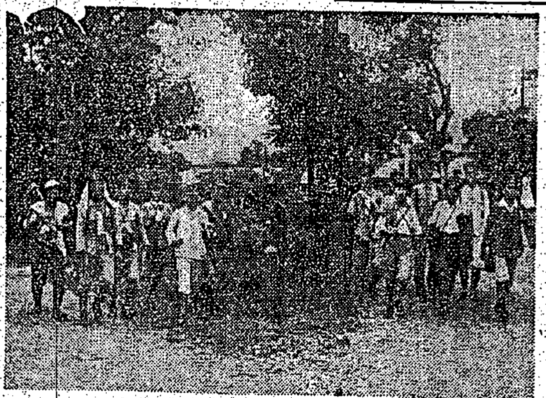
南方

臺灣



海の子"意氣高らか
基隆港頭短艇競漕賑ふ

▲第一部　五人乘五〇〇米



一氣に百粁山野跋涉
護國神社奉納行軍鍊成會終る

遙拜

護國

宣誓

第一期稻作は良好
平年作に較べ稍優る

新店溪の鮎便り
近年稀な豐漁豫想さる

藤垣正平氏

ねつとりせきには
美味　政源
お茶でのむと
よくキキます

ナリス
藥用クリーム
お肌の活力を高める
強力滲透性
榮養クリーム

30日より2日まで
東寶國際館

今日の映畫と演藝
大世界　台劇　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　太平館　第三世界　基隆世界
基隆の映畫
台北合同興業會社
廣告は宣傳の近道なり

第一回決算報告
臺灣畜產工藝

第三回決算公告

第七期決算公告
西尾商會

長男耕作儀豫而病氣療養中之處藥石無效卅日午前六時五十分死去仕候間此段謹告仕候

父平田圭太郎儀病氣入院中ノ處藥石效無五月二十九日午後一時半逝去仕候間此段謹告仕候
平田兼司
芙美代子
甲斐園太郎
武田義夫
小野寺義雄

當社前臺灣支店長藤垣正平殿過般來病氣療養中の處藥石效無く去る廿九日午前一時東京に於て逝去被致候間此段生前知友各位に謹告仕候
安部幸商店臺北支店

會葬御禮
石崎カホル

會葬御禮
服部武彥

皮膚科泌尿器科
吳皮膚科醫院

齒科
大原齒科醫院

女工產業人募集
募集人員　內臺人貳百名
藤井建材工業所

デルビーは
慢性胃腸藥

健康報國
戰時だ働かう
肉芽新生・上皮形成促進劑
ケミスキン
創傷・擦過傷・火傷・濕疹
水虫・肛門裂創・痔疾
代理店　台北市建成町三丁目
東京堂藥局
電話代表六四〇五番
振替台灣四六二四番

各地に轉戰武勳燦

聖恩は廣大、輝く行賞

鐵道輸送に挺身

蕭君感激して語る

【宜蘭電話】宜蘭郡頭圍庄頭圍［illegible］

［illegible］

蘇君海の兵を志願

【竹山電話】臺中州竹山郡鹿谷庄［illegible］

［illegible］

通譯として活躍

新竹州出身羅軍屬

【新竹電話】今次支那事變勃發當時［illegible］

［illegible］

臺中州青少年團長會議

【臺中電話】［illegible］

技術向上に盡瘁

晴れの勤勞顯功章

新竹州でけふ授與式

【新竹電話】［illegible］

我征かん、海の兵

宜蘭郡の志願者殺到

【宜蘭電話】［illegible］

米生産目標百萬石

州下擧げて增産に邁進

【新竹電話】［illegible］

空の防人へ感謝昂る

【北斗電話】［illegible］

遂に三百萬枚突破

員林郡の硬貨回收いよいよ高潮

【臺中電話】［illegible］

聖將に續け

中神君二千圓獻金

【臺中電話】［illegible］

徒歩大會

【臺東電話】［illegible］

小國民の熱誠

元帥の死に感激烈々の手紙

【臺中電話】臺中市明治國民校［illegible］

苗栗に錬成道場

【新竹電話】［illegible］

女教員座談會

【新竹電話】［illegible］

臺中州實業補習學校長會議

【臺中電話】［illegible］

新竹署で防空強化指導講習

【新竹電話】［illegible］

新竹で草刈競技會

若人の勤勞精神を昂揚

【新竹電話】［illegible］

南寮海水浴場開場

【新竹電話】［illegible］

第○部隊にて告別式

【○○電話】［illegible］

昭和國民校上棟式

【臺中電話】［illegible］

草嶺ダム罹災者慰靈祭

【臺中電話】［illegible］

海の勇士へ感謝

臺中結俱員が眞心のブック

【臺中電話】臺中市の結俱員［illegible］

臺東に熱帶農業學校

生産增強に期待さる

【臺東電話】臺東には昭和十五年［illegible］

先づ食糧增産

淡水でも自給肥料

【淡水電話】［illegible］

戰ふ本島の結婚問題

人口增殖との關係重大

府衛生課長　曾田長宗氏談

昭和十六年一月二十二日政府では閣議を以て「人口政策確立要綱」を決定したが［illegible］

［illegible］

實例を擧げる

［illegible］

もし最も

［illegible］

在臺内地人

［illegible］

周知の如く

［illegible］

最後に

［illegible］

ラヂオ

第一放送

［illegible］

第二放送

［illegible］

赤誠の獻金

軍司令部（五月廿八日迄）

國防獻金［illegible］

恤兵金［illegible］

海軍武官府（五月二十一日より）

國防獻金［illegible］

獻品［illegible］

建艦獻金［illegible］

恤兵獻金［illegible］

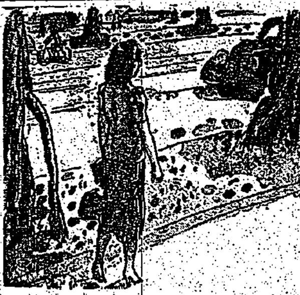
大いなる祭

(148)

中野實作　三芳悌吉畫

ふるさと（七）

［illegible］



［illegible］

モーターサイレン
各種サイレン

株式會社精工社製作所
營業所　東京市芝區新橋
電話芝(43)［illegible］

改造　六月號
戰費の問題
國民教育の新理念
經濟動員計畫の前進
戰爭と交通
スマトラ
總力戰略
山鹿素行
朝暮兵

健康增進に　ネオトン

第九回決算報告
鄭水港パルプ工業株式會社

毛深

洋服の御用は　青帽洋服店　臺北市京町三丁目　電話六五八六番

淨血强壯精力劑　病源療法　ドラミン　臺灣總配給所　臺北市大和町三ノ一

家庭必需品　洗濯用、手洗用、工場用　ほまれ洗素　製造元　野田商行　臺北市建成町四

メガネは　和田眼鏡店　臺北市大和町四ノ八　電話六一五〇番

衣類蟲よけの王　脫臭　ヒナタ（香入）　發賣總代理店　佐野商行

世界馳名　梅毒風濕骨痛リウマチス特效　九一四内服新藥　臺北市永樂町　神農氏大藥房

特許　奉公たわし　東子製造株式會社

クリスタル化粧品　東京堂藥局　臺北市建成町三ノ一　電話六四〇五番

高級夏向　洋服地大荷揃　大菊商行　臺北市太平町三　電話六六五七番

家庭洗濯用　芙蓉糊　佐野商行

夏物新荷揃　丸吉呉服店

放送局選定　ラヂオは中川　臺北市本町

醫院向藥品取揃へてあります　藥品全般　大平藥業株式會社

靴鞄商　巴商會　臺北市榮町二ノ一七　電話參五八七・六參九貳番

姓名學　名付ト改姓名　姓名學館　堀澤天久堂

クリーニングは　太洋社洗濯部へ　臺北市御成町二丁目　電話二二五二番

諸官衙御用達　金星堂藥舖

夏物の御用命は　大木呉服店へ　臺北市兒玉町　電話三八〇四番

双葉商行の實物取引　株式會社双葉商行

各種靴・非常袋・救急袋の御用命は　大正堂靴鞄店　臺北市京町一　電話二一二四番